

新たな学校給食共同調理場の整備について

平成27年7月13日 諮問 (教育委員会 → 学校給食審議会)

「老朽化した学校給食調理場の更新について」

平成27年12月25日 答申 (学校給食審議会 → 教育委員会)

概要：共同調理場方式（センター方式）、単独調理場方式（自校方式）ともに、施設の老朽化が進んでおり、安全・安心な学校給食を安定的に提供する施設の整備が急務である。「中長期的な視野での学校給食施設の更新計画」を市の責任において、早急に策定することを強く要望する。

平成29年3月 「一宮市学校給食調理場整備基本構想」 (略称、基本構想)

概要：検討したケースはいずれの場合も、新たな共同調理場の整備を進める必要があるため、まずは一宮地区の共同調理場の新規整備を早急に実現することを中心課題に据えて、建設地の確保などに具体的に着手すべきである。尾西・木曾川地区については、現調理場の機能を維持保全するための修繕等を行うとともに、給食提供方式について引き続き検討していく。

平成31年2月 「一宮市学校給食共同調理場整備基本計画」 (略称、基本計画)

概要：新しく一宮地区で建設する共同調理場の場数を3場、食数規模をそれぞれ8,500食、8,500食、6,000食を原則とし、建設地の満たすべき条件の確認や整備する機能を決定した。また、アレルギー対応専用調理室を設け対応食を提供する。

平成31年2月 「(仮称)一宮市第1共同調理場整備運営計画」 (略称、整備運営計画)

概要：基本計画で決定した3場のうちの1場目となる共同調理場についての、建設地や条件適合状況等を具体的に示すとともに、整備内容等について整理し、今後の進め方について示した。

令和元年度の主な関連予算は、以下の通り。

事業認定申請準備・申請 (R1-2 債務負担行為設定。R1 支出額0千円)

基本設計 (R1-2 債務負担行為設定。R1 支出額0千円)

測量業務 建設予定地の測量

動植物生息状況現地調査 貴重種動植物の生息調査

不動産鑑定業務 土地の不動産鑑定評価

建物等調査業務 物件等移転補償額の算定

令和2年度以降の計画（予定）は、以下の通り。

R2-3 建設用地取得

R2-3 PFI アドバイザリー委託

R4-6 実施設計・建設工事等

R6 供用開始